

1 しごと

～仕事いっぱい、雇用がいっぱい、活力に満ちたまち～

基本政策
1-1

農林業の振興

～農林業者が安定した所得を確保しています～

政策の方針

就業者の減少やグローバル化による影響が懸念される中、農林業が持続していくためには、農林業に携わる人が安定した所得を確保することが必要です。

そのために、収益性の高い農畜産物など農業生産の支援を行うとともに、担い手となる後継者の育成、生産基盤や施設の整備による生産性や作業効率の向上に取り組みます。また、地元産の木材が建築材等として利用されるための供給体制の構築、森林の健全な育成に取り組みます。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・地産地消*の心がけ
- ・地域農畜産物の贈答品への活用
- ・地元産木材の建物等への利用や燃料としての使用
- ・植樹や育樹活動への参加

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・生産者自らが販売できる環境づくりと販売促進
- ・新技術の導入による品質の向上と低コスト化
- ・適地適作による地域の特産物の生産と出荷量の安定確保
- ・耕作放棄地の解消と発生させない努力
- ・農業の魅力の発信と人材育成
- ・良質な木材の提供
- ・健全な森林育成のための下刈や間伐などの実施

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
農業者一人当たりの 農業所得金額*	農業を営むことによる収益の状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：総務省(市町村課税状況等の調)農業所得のみの人、または農業所得以外の所得もあるが農業所得の方が多い人のうち、所得(利益)が出ている人の所得金額	2,292 千円	2,307 千円	2,338 千円

関連計画

- 国土利用計画花巻市計画(平成 20～27 年度)
- 花巻農業振興地域整備計画(平成 25～34 年度)
- 地域農業マスタープラン(平成 24 年度～)
- 農業経営基盤の強化の促進に関する基本的な構想(平成 25～34 年度)
- 花巻市酪農・肉用牛生産近代化計画(平成 23～32 年度)
- 花巻市森林整備計画(平成 25～34 年度)
- 花巻市公共建築物等木材利用促進基本方針(平成 25 年度～)

施策1 農業生産の支援

◇目指す姿

収益性の高い農畜産物を生産しています

◇現状と課題

- ・北上川流域の整備された肥沃な農地で、豊富な種類の農畜産物が生産されていますが、収益が確保される生産への転換が思うように進んでおらず、補助金等で農業収入を確保している状況です。
- ・安全安心な農畜産物に対する消費者の需要が高まっている中、花巻産農畜産物の安全性のPRを通じた消費拡大を図ることが重要となっています。

◇施策の方向

(1) 農業生産の振興

- ・新技術、新品種の導入支援
- ・生産条件不利地域の生産活動支援

(2) 農業経営の安定化支援

- ・各種補助制度の周知と利用促進
- ・農業資金の利子補給支援
- ・出荷販売価格低下時の支援

(3) 農畜産物の消費拡大

- ・地産地消*の推進
- ・都市消費者との交流
- ・農畜産物の安全性のPRと販売促進

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
振興作物*の栽培面積	収益性の高い振興作物*の生産状況を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市農業推進協議会（水田台帳）	3,782ha	3,820ha	3,860ha	3,900ha

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
有害鳥獣被害対策事業 （農村林務課）	農林水産物や人身に対する被害を防止するため、鳥獣被害対策を実施する。	149
中山間地域農業支援事業 （農政課）	中山間地域等において、耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能*を確保するため、農業生産活動の継続に積極的な取り組みを促進する。	149
優良乳用牛確保対策事業 （農政課）	優良な後継牛を効率的に確保するため、酪農家が実施する乳用牛の雌雄判別精液利用に対して支援する。	149
水田農業経営安定事業 （農政課）	農業所得の向上と経営の安定のため、国の経営所得安定対策に的確に対応し、水田農業を中心として野菜や果樹、花き、雑穀、畜産等の生産拡大を図る。	149
花巻米生産確立支援事業 （農政課）	主食用米生産者の生産意欲向上と花巻米の産地確立のため、稲体強化に効果のあるケイ酸を含む土壌改良資材費に対する支援を行う。	149
花巻産農畜産物消費拡大推進事業 （農政課）	花巻産農畜産物の販路拡大を図るため、首都圏等の実需者（料理人、バイヤー等）を季節ごとに花巻に招待する産地見学会・商談会の開催を検討する。	149
家畜防疫対策事業 （農政課）	牛呼吸器病及び牛ウイルス性下痢・粘膜病の予防及びまん延防止のため、花巻市内の肉用繁殖牛及び乳用牛にワクチンを接種した経費に対して支援する。	150
死亡牛処理円滑化推進事業 （農政課）	死亡牛処理の農家負担の軽減を図るため、輸送費増額分について支援する。	150
水田営農継続緊急支援事業 （農政課）	米価下落により影響を受ける主食用米生産者に対し、生産意欲を低下させず、農業経営の安定化を図るため、水稻生産に係る生産資材（肥料・農薬）を購入する経費への支援を行う。	150

施策2 担い手の育成

◇目指す姿

農業の担い手が育っています

◇現状と課題

- ・農業従事者の減少や高齢化により、作付されない農地が増加するとともに農畜産物の生産量が減少しており、地域農業を守る担い手が、農地を集積・活用して農業で自立することが重要です。

◇施策の方向

(1)担い手・新規就農者の育成支援

- ・担い手の育成支援
- ・集落営農組織の法人化の推進
- ・新規就農者の確保と育成

(2)農地集積の推進

- ・農地の貸し手と借り手のマッチング支援
- ・農地集積協力者の確保
- ・農地中間管理事業の活用推進

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
担い手への農地集積率	全農家の経営面積のうち、担い手による経営の割合を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市農業推進協議会（水田台帳） 担い手の経営面積／全農家の経営面積	59.2%	60.0%	60.8%	61.6%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
担い手育成支援事業 (農政課)	地域農業の担い手となる農業者や新規就農者、集落営農組織の育成確保を図るため、人・農地プランに位置づけ集中的に支援を行う。	150
担い手育成支援事業(新規就農者支援分) (農政課)	主に市外で農外就業をしていた方を中心とした定住を支援する。	150
農地有効活用事業 (農政課)	農地の集積による経営安定化のため、集積や連担化の協力者に対する支援や、農地利用集積円滑化事業を行う花巻農業振興公社の運営を支援する。	150
はなまきチャレンジ農業支援事業 (農政課)	農業経営の安定化を図るため、農業者が行う生産から流通にかけての革新的な取り組み（新技術の開発など）に係る経費等に対する支援について検討する。	150

施策3 生産基盤の整備

◇目指す姿

農業の生産性や作業効率が向上しています

◇現状と課題

- ・分散した農地や水はけが悪い農地があるほか、機械施設などに作業効率が低い状況が見受けられます。
- ・作付けされない農地が増加し、雑草の繁茂や病虫害発生など周辺環境へ影響を及ぼしています。

◇施策の方向

(1) 農業生産基盤・生産施設の整備

- ・水田や農業用水路等の基盤整備
- ・大規模生産施設の整備支援

(2) 農村環境の保全支援

- ・地域共同の農村環境保全支援
- ・既存農業施設の長寿命化支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
水田整備率	<p>農業の生産性向上のための基盤整備状況を示す指標です。増加を目指します。</p> <p>出典：岩手県（希望郷いわての農業農村整備計画） 整備済みの水田面積（30a以上） ／市内の全水田面積</p>	67.3%	67.3%	67.3%	67.5%
地域共同による農業資源管理面積	<p>農地、水路、農道等の保全管理活動や農村環境の保全活動の状況を示す指標です。増加を目指します。</p> <p>多面的機能*支払活動面積＋中山間地域協定面積</p>	13,294ha	13,534ha	13,774ha	14,014ha

政策 1-1 農林業の振興

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
生産施設等整備事業 （農政課）	農業の生産性を高めるため、認定農業者や集落営農組織等の経営の複合化・多角化、基盤強化、産地拡大、6次産業化を推進する生産施設等の整備を支援する。	150
農村環境保全事業 （農村林務課）	農地・農業用水等の資源や環境の保全向上を図るため、施設の保全管理活動や長寿命化対策、地球温暖化防止等への取り組みを支援する。	150
土地改良事業 （農村林務課）	生産性や農村環境の向上を図るため、水田や水路などの基盤整備を行う土地改良事業を支援する。	150
畜産基盤強化対策事業 （農政課）	生産基盤強化を図るため、簡易畜舎、畜舎の付帯設備に関連する新築並びに増築、低コスト生産機械の導入及び電気牧柵設置に対して支援する。	150
畜産競争力強化緊急整備事業 （農政課）	畜産経営における収益性の向上のため、地域の中心的な畜産経営体に対する家畜飼養管理施設等の整備を支援する。	150

施策4 木材供給体制の構築

◇目指す姿

地元産木材が建築物や燃料等に利用されています

◇現状と課題

- ・国内の林業経営は、木材需要が回復傾向にあるものの、国産材の流通構造改革の遅れなどにより、依然として厳しい状況に置かれています。
- ・本市においても、森林所有者の経営意欲の低迷、作業道等の整備や施業の集約化の遅れなどから生産性が低くなっており、地元産木材が思うように活用されていない状況です。

◇施策の方向

(1)良質な木材生産の振興

- ・森林所有者の森林経営計画策定の支援
- ・間伐等の森林育成支援

(2)木材有効活用の支援

- ・基幹となる林道の整備、維持管理
- ・関係団体と連携した素材生産*から加工、供給までの体制づくり
- ・搬出間伐材の建築用材や燃料への有効活用への支援
- ・特用林産物*の生産振興

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
森林経営計画の策定面積	森林施業の効率化とコスト低減、安定した木材供給のために森林所有者が計画する策定面積を示す指標です。増加を目指します。	3,120ha	4,120ha	5,120ha	6,120ha
素材生産*量	製材として活用されるための素材の生産量を示す指標です。増加を目指します。 <small>出典：岩手県（素材生産*量調査）</small>	25,178 m ³	27,100 m ³	27,780 m ³	28,460 m ³

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
森林資源活用事業 （農村林務課）	放射能の影響を受けているしいたけ生産に対し、ほだ木等の生産資材導入を支援し、早期の生産再開を図る。	151
森林整備事業 （農村林務課）	地元産木材の建設物や燃料への利用を進めるため、下刈・間伐等の森林整備を進めるほか、森林施業の効率化を図る森林経営計画の作成を支援する。	151
木材の多面的利用促進事業 （農村林務課）	市内の木材利用促進と有効活用のため、建設物や燃料への利用を促進する。また、花巻市公共建築物等木材利用促進基本方針に基づき、市木材利用促進協議会と連携し、多面的な利用を推進する。	151

施策5 森林の保全

◇目指す姿

森林が健全に育っています

◇現状と課題

- ・本市総面積の約 66%を占める豊かな森林は、森林所有者の高齢化や後継者不足により、手入れの行き届かない森林が増えています。
- ・森林には木材生産のほか防災・環境・景観などでの様々な役割がありますが、植樹などの森林保護活動に参加した市民の割合は1割に満たない(市民アンケート)状況です。

◇施策の方向

(1)森林保全の推進

- ・森林病虫害の予防、駆除
- ・樹種の転換促進

(2)森林の多面的機能*への意識啓発

- ・水源かん養*、地球温暖化対策等、森林の有する多面的機能*の啓発活動

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値(H25)	H26	H27	H28
植樹などの森林保護活動に参加した市民の割合	森林を保護する活動を実際に行っている市民の割合を示す指標です。増加を目指します。 <small>出典：花巻市（市民アンケート）</small>	4.8%	6.0%	6.5%	7.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
森林保全啓発事業 (農村林務課)	森林の持つさまざまな役割を啓発するため、森林体験・植樹・木工体験等のイベントを実施する。	151
森林環境保全事業 (農村林務課)	松くい虫から民有林を守るため、駆除・樹幹注入等により、被害拡大の防止を図る。	151

基本政策
1-2

工業の振興

～企業が強い競争力を持ち、生産活動を活発に行っています～

政策の方針

経済のグローバル化により、地方においても国内外からの様々な影響を直接受けることとなり、その中で、地場企業の生産活動が活発に行われていくためには、他の企業に負けない高い競争力が必要です。

そのために、企業の生産技術向上や経営課題の解決など総合的な支援を行うとともに、新分野や成長分野*への進出を促進します。

(市民や企業に期待される役割)

- ◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)
 - ・地元企業の技術や製品などに対する理解
- ◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)
 - ・自社研究・技術開発の事業化への取り組み強化
 - ・保有する技術の知的財産権*の取得

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
岩手県全体に占める本市の製造品出荷額等*の割合	岩手県全体に占める花巻市の事業者等が製造した製品の出荷額を示す指標です。増加を目指します。 出典：経済産業省(工業統計調査) 花巻市の製造品出荷額等* / 岩手県全体の製造品出荷額等*	7.31%	7.60%	8.30%

関連計画

○北上川流域地域産業活性化基本計画(平成 24～28 年度)

施策1 技術力・経営力の向上

◇目指す姿

企業の技術力や経営力が向上しています

◇現状と課題

- ・経済のグローバル化により、海外からの影響を受ける、いわゆるグローバルリスクが発生しやすくなっており、生産拠点の海外移転などのメーカーの動向が、市内企業にも影響を及ぼしています。
- ・生産活動については一部持ち直しの傾向があるものの、製造業の純生産*が落ち込み、先行きの不透明感から設備投資は慎重な姿勢が続いています。

◇施策の方向

(1)技術力・経営力の向上支援

- ・産学共同研究等の推進
- ・円滑な資金調達の支援
- ・経営課題の解決や技術開発の支援
- ・企業の情報発信力強化と企業間ネットワークの構築

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値(H25)	H26	H27	H28
市の支援により技術力・経営力の向上に取り組んでいる企業の割合	企業が抱える経営課題の解決や競争力の強化のため、市の制度を活用して取り組みを行っている企業の割合を示す指標です。現在の高い水準の維持を目指します。 <small>(企業競争力強化支援事業補助件数+アドバイザー派遣件数) / 市内の従業員4名以上の製造業事業所数</small>	38.1%	40.0%	40.0%	40.0%
融資実行件数(設備投資)	市内企業の資金需要における設備投資資金の融資状況を示す指標です。過去5年間の平均水準維持を目指します。	58件	60件	60件	60件

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
技術力・経営力向上支援事業 (商工労政課)	総合的な企業競争力の強化や経営課題解決のため、展示会の出展による販路拡大や、研修等による人材育成などの取り組みを支援するほか、専門知識を有するアドバイザーを企業に派遣し、企業が抱える課題の解決を図る。	151
中小企業振興融資事業 (商工労政課)	市内中小企業の資金調達を支援し経営安定を図るため、市内金融機関へ預託を行い貸し付け資金枠を確保するとともに、保証料全額と利子の一部を補給する。	151

施策2 事業分野の拡大

◇目指す姿

新分野や成長分野*への進出を盛んに行っています

◇現状と課題

- ・市内には、様々な企業が立地しているものの、成長性が見込まれる産業（エネルギー、環境、医療、福祉、食品、自動車）への参入を目指す企業が少ない状況にあります。

◇施策の方向

(1)成長分野*への参入促進

- ・成長分野*参入に伴う課題解決の支援
- ・製品及び技術開発の支援
- ・市場調査、販路拡大の支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
新たに市の支援により成長分野*に取り組んだ件数	市の補助の利用や、専門家の派遣を受けて成長分野*に取り組んだ件数を示す指標です。毎年8件程度の取り組みを目指します。	2件	8件	8件	8件

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
成長分野*参入促進事業 (商工労政課)	成長分野*への新規参入を促すため、専門家による指導・助言や、製品・技術開発、調査・販路拡大等への取り組みを支援する。	151

基本政策
1-3

商業の振興

～商業機能を充実し、人とモノの流れを活発にしています～

政策の方針

人口減少により、市内消費の縮小も懸念される中、商店街など市内の商業を活性化させていくためには、消費者(人)と商品(モノ)の流れが活発になるよう商業機能を充実させる必要があります。

そのために、消費者ニーズに対応した多様な商業形態の形成を図るとともに、既存の商店街が、歴史と景観が調和した魅力ある商店街として再生できるよう支援します。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・地元商店の積極的利用
- ・商店街の行事や祭りへの参画*
- ・街なか活性化策を考える

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・消費者が魅力を感じる商店と商店街づくり
- ・地域の特性を生かした企画、イベントの実施
- ・市民からの商店街活性化策の取り入れ

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
日常の買い物を市内で行う市民の割合	市民の市内での買い物の状況を示す指標です。現状の高い水準の維持を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	87.9%	90.0%	90.0%

施策1 商業形態の多様化

◇目指す姿

消費者ニーズに対応した多様な商業形態が形成されています

◇現状と課題

- ・自家用車の普及による郊外型の大規模小売店の立地や、大規模資本による通信販売やインターネット販売の普及など、消費者のライフスタイルの変化やニーズの多様化に対応した新しい商業形態が消費者に受け入れられています。
- ・市内での買い物に満足している市民の割合は 6 割弱(市民アンケート)であり、市全体の商業サービスとして考えると、十分に消費者ニーズに対応しているとは言えない状況にあります。

◇施策の方向

(1)商業機能の充実

- ・地元事業者による多様な新事業展開への支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
市内での買い物に満足している市民の割合	市内での買い物における市民満足度を示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	54.4%	57.0%	58.5%	60.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
商店街賑わい再生戦略事業 (商工労政課)	商業形態の多様化を図り魅力ある商店街とするため、商業団体等が自ら取り組む事業性のある事業への支援を行う。	152

施策2 商店街の再生

◇目指す姿

歴史と景観が調和した魅力ある商店街となっています

◇現状と課題

- ・商業機能の郊外化や後継者不足により、既存商店街の販売力が低下するとともに、空き店舗が増加しています。
- ・空き店舗増加に伴い、商店街での買い物客や多くの人が行き交う場が少なくなり、街なかにおける人と人との交流の機会が失われています。
- ・買い物客やイベント等に訪れる市民に加え、観光客を巻き込んだ賑わい創出を目指していますが、街なかの観光スポットが不足しており、商店街へ呼び込めていない状況にあります。

◇施策の方向

(1)商店街の賑わいづくり支援

- ・商店街のイベント支援
- ・商店街共同施設の整備支援
- ・商店街における憩いの場づくり
- ・新規出店の促進と定着支援
- ・民間主導による遊休不動産の活用促進

(2)歴史と景観が調和した商店街づくりの推進

- ・地域住民による特色を生かした商店街づくりの支援
- ・先人や歴史を活用した街なか誘導への取り組み支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
市街地における一日当たりの歩行者数	市街地の集客力を示す指標です。減少傾向の中で現状の維持を目指します。 <small>出典：花巻商工会議所（花巻市街地通行料及び交通量調査）</small>	8,252人	9,000人	9,000人	9,000人
中心市街地の新規出店数	市街地における空き店舗解消の度合いを示す指標です。廃業店舗数を考慮しつつ、毎年5店の新規出店を目指します。	4店	5店	5店	5店

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
商店街賑わいづくり事業 (商工労政課)	商店街の賑わいを創出するため、商店街等のイベントを支援するほか、空き店舗への新規出店に係る経費への補助を通じて未利用店舗の活用を支援する。	152

基本政策
1-4

観光の振興

～国内外から多くの観光客を誘引し、賑わいを創出しています～

政策の方針

人口減少の中で、まちの賑わいを創出するためには、国内外からより多くの観光客を誘引する必要があります。

そのために、豊富な観光資源を活用し観光地としての魅力を向上させるとともに、国内外に効果的な情報発信を行います。また、観光客が目的地にスムーズに移動できるように環境整備を進めるとともに、まちぐるみで観光客を歓迎できるようにおもてなしの向上を図ります。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・観光地であるという認識をもつ
- ・住んでいる地域の観光資源の理解
- ・市外住民への観光PR
- ・観光客への声かけ、観光案内

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・イベントの開催
- ・工場見学など特徴を生かした体験型観光の推進
- ・市内観光資源の宣伝活動
- ・特産品*を生かした観光資源の創出

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
観光客入込数	観光資源に魅力を感じ、訪れた観光客数を示す指標です。 増加を目指します。 出典：岩手県(観光客入込数調)	222万人	238万人	281万人

施策1 観光の魅力向上

◇目指す姿

花巻にしかない魅力ある観光地がたくさんあります

◇現状と課題

- ・温泉や宮沢賢治、早池峰神楽をはじめとする豊富な観光資源を有していますが、観光客数はここ数年ほぼ横ばい傾向にあります。

◇施策の方向

(1) 観光資源の充実

- ・観光資源ブラッシュアップの推進
- ・滞在型観光の推進に向けた商品開発
- ・魅力あるイベントの開催支援
- ・観光施設の整備
- ・観光施設と地域食材の連携強化
- ・賢治を生かしたまちづくり支援
- ・まちなかの観光資源の発掘
- ・観光客意識、ニーズの的確な把握

(2) 広域観光の推進

- ・平泉や遠野、沿岸地域など県内各地との連携による広域観光の推進、強化

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
観光施設、イベントの入場者数	市が管理する施設への入館者・イベントへの入場者数を示す指標です。増加を目指します。	100.1万人	101.5万人	105.0万人	107.5万人

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
農村施設維持事業 （商工労政課・観光課）	観光資源でもある農村施設の長寿命化を図るため、計画的に大規模改修を行う。	152
観光イベント開催事業 （観光課）	地域資源の保全と魅力アップを図るため、各地域におけるまつりやイベントの開催を支援する。	152
広域観光推進事業 （観光課）	市内への誘客を促進するため、平泉や遠野、沿岸地域など県内各地と広域的に連携した事業を展開する。	152
観光施設維持事業 （観光課）	観光施設の長寿命化を図るため、計画的に大規模改修を行う。	152
観光政策意見収集事業 （観光課）	今後の観光政策に若者の意見を取り入れるため、主に20代を対象とした観光資源見学バスツアーを開催して観光振興に繋がる意見提案をもらうほか、ツアーを通じて得た知識や情報を他の若い世代に発信してもらう。（H26完了）	152

施策2 観光情報の発信

◇目指す姿

観光資源が国内外で有名になっています

◇現状と課題

- ・各種メディアへの宣伝広告やホームページでの情報発信など従来の手法に加え、SNS*などによる新たな情報発信のほか、海外でのプロモーション活動にも積極的に参加している状況です。

◇施策の方向

(1)効果的な観光情報の発信

- ・新しいメディアに対応した情報提供
- ・広告掲載やパンフレットなどによる宣伝
- ・国内外での各種観光キャンペーンの展開
- ・賢治と食による新たな観光発信
- ・外国語パンフレットなどによる海外への観光情報発信

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
観光協会 HP のアクセス件数	観光客が花巻に関心を持った回数を示す指標です。増加を目指します。	28.5 万件	29.1 万件	29.8 万件	30.5 万件
観光施設、イベントが雑誌等で取り上げられた件数	観光施設、イベントの知名度向上への取り組みを示す指標です。増加を目指します。	71 件	73 件	75 件	80 件

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
観光情報発信事業 (観光課)	より多くの人に花巻の魅力を知ってもらうため、観光情報の発信を行う。また、外から見た花巻の観光についての意見を聞くため、イーハトーブ大使や在京花巻ふるさと会と意見交換会を行う。	152
誘客促進事業 (観光課)	誘客促進のため、観光プロモーション映像（DVD）を作成し、首都圏などの都市圏において観光PRを行う。	152

施策3 移動しやすい観光地

◇目指す姿

観光客がスムーズに移動しています

◇現状と課題

- ・自家用車で訪れる観光客が、市内に点在する観光施設へスムーズに移動するために、親切な案内表示に努めています。
- ・公共交通機関で訪れる観光客に対しては、観光施設を周遊できる二次交通*が運行されており、利用者から好評を得ています。

◇施策の方向

(1)観光案内表示の充実

- ・みちさき案内表示、観光案内板の整備

(2)観光施設間の移動手段の確保

- ・駅から温泉、観光施設間の二次交通*の運行支援
- ・効率的に巡回する観光ルートの整備
- ・花巻空港を利用する観光客意識、ニーズの的確な把握

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
観光環状バス*等の利用者数	二次交通*である観光バス等の利用状況を示す指標です。増加を目指します。	53,054人	53,000人	54,000人	55,000人

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
みちさき案内推進事業 (観光課)	観光施設等への移動をスムーズにするため、市内各地に案内サインを設置する。	152
観光ルート整備事業 (観光課)	観光客の利便性向上のため、二次交通*の充実と市内回遊性を高める事業に対し支援を行う。また、新たな観光ルートを整備するなど、今後の観光施策に若年層の意見を取り入れるため、大学生と共同研究を行う。	153

施策4 おもてなしの向上

◇目指す姿

まちぐるみで観光客を歓迎しています

◇現状と課題

- ・市民を巻き込んだ観光客への細やかな心づかいや親切な対応などは、観光客の満足度向上に重要な項目ではありますが、本市が観光地であるという市民の意識や体制が充分には進んでいない状況にあります。

◇施策の方向

(1)おもてなしの向上

- ・観光ボランティアガイド*、観光イベントボランティア*の育成支援
- ・市民が行うおもてなしサービスへの支援
- ・観光案内所の充実
- ・市民の地元理解の醸成
- ・観光関連従業員を対象としたおもてなし向上支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
観光施設等での対応やおもてなしに満足した観光客の割合	観光客に対するおもてなしの満足度を示す指標です。現在の高い水準の維持を目指します。 <small>出典：花巻市（観光客アンケート）</small>	89.0%	90.0%	90.0%	90.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
まちぐるみ観光推進事業 (観光課)	観光客の満足度を向上させるため、観光ボランティアガイド*の派遣や市民の意識向上を通じて、まちぐるみでのおもてなしサービスを充実させる。	153

基本政策
1-5

農工商観連携*の推進

～多様な産業が連携し、高付加価値を創出しています～

政策の方針

市内の産業振興を図るためには、多様な産業が互いに連携し、高付加価値を生み出す必要があります。

そのために、多様な分野において、起業や新たな事業展開への支援、企業誘致を推進するとともに、地場産品*を活用した特産品*の開発を促進します。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・地場産品*の積極的な消費
- ・地場産品*の贈答品への活用

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・異業種との連携による地元産を使った商品開発、販売促進、情報発信
- ・地場産品*の地域ブランド*化への取り組み

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28目標値	H35目標値
岩手県全体に占める本市の粗付加価値額*の割合	岩手県全体に占める花巻市の、生産活動によって新たに生み出される価値総額の割合を示す指標です。増加を目指します。 出典：経済産業省(工業統計調査) 花巻市の粗付加価値額* / 岩手県全体の粗付加価値額*	9.72%	10.30%	11.00%

関連計画

○北上川流域地域産業活性化基本計画(平成24～28年度)

施策1 起業の推進

◇目指す姿

多様な分野で起業や新事業展開を活発に行っています

◇現状と課題

- ・長期的な経済状況の低迷による倒産や事業の再編・集約化、地方拠点の統廃合等により、市内の事業所数が減少しています。
- ・経済活動のグローバル化の進展や経済情勢の急速な変化が見られる中、社会ニーズに対応した高付加価値の製品開発には膨大な時間と労力が必要とされますが、企業が独自で基礎研究から実用化まで全てを行うことは困難な状況にあります。

◇施策の方向

(1) 起業・新事業展開の推進

- ・インキュベート施設*を活用した起業の推進
- ・コーディネーター*による産業間連携の拡大支援
- ・大学が保有するシーズ*を活用した地域産業の高度化の推進

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
インキュベート施設* の入居率	起業や新たな事業展開を行うために、市の支援施設に入居している企業の状況を示す指標です。現在の高い水準の維持を目指します。 入居企業数 / (花巻市起業化支援センター+花巻市ビジネスインキュベータ)の貸工場・貸研究室・貸事務所総数	70.3%	74.0%	74.0%	74.0%
インキュベート施設* を卒業して事業所を開 設した企業数	市の支援施設入居を経て、事業所展開に結びついた企業数を示す指標です。毎年2社の事業所展開を目指します。	0社	2社	2社	2社

◇主要事業

事業名(担当課)	事業概要	掲載P
起業・新事業展開推進事業 (商工労政課)	新規創業と新事業への展開を支援するため、貸工場・研究室・事務所の施設への入居を促進するほか、大学が保有する高度な技術の活用を促す。	153

施策2 特産品*の開発

◇目指す姿

地場産品*を活用し、付加価値の高い多くの商品を開発しています

◇現状と課題

- ・地場産品*は豊富にあるものの、その大部分が生産者や加工業者等による従来の生産・加工・販売方法にとどまっており、農業者と商工流通業者の連携による付加価値の高い商品の開発・販売は十分ではない状況です。
- ・ひえカレープロジェクトなど、地場産品*を生かして新たな商品やサービスを生み出そうとする取り組みが行われるようになっていきます。

◇施策の方向

(1)特産品*開発と販路拡大の支援

- ・地元の農畜産物を活用した商品開発の支援
- ・特産品*の市内普及促進
- ・特産品*の情報発信と販路開拓支援

(2)地域産業の情報発信

- ・農林業、商工業、観光業の連携による幅広い情報発信

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
新たに市の支援により地場産品*の高付加価値化に取り組んでいる事業所数	地場産業の活性化のため、地場産品*を活用した高付加価値化への取り組み状況を示す指標です。毎年6社の取り組みを目指します。	5社	6社	6社	6社
地場産品*の高付加価値化への取り組みを継続している事業所数	高付加価値化への取り組みの継続状況を示す指標です。取り組み実績のある全ての事業所の事業継続を目指します。	14社	20社	26社	32社

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
特産品*開発・販路拡大事業 (商工労政課)	地元の農畜産物を活用した付加価値の高い新商品の開発と流通のため、商品開発や販路拡大等の支援を行う。	153

施策3 企業誘致の推進

◇目指す姿

多様な分野の多くの企業が立地しています

◇現状と課題

- ・高速交通網の要衝である立地優位性を生かし、物流関係企業の立地が進んでいます。一方、工場の立地においては、本社への近接性や立地場所の地価、工業団地などの専用用地への展開が重要視されているほか、経済活動のグローバル化による海外展開など全国的に二次産業の空洞化が依然として進行しており、本市の企業立地についても少なからずこの影響を受けている状況にあります。
- ・企業立地は、地元企業への経済波及や新たな雇用の創出などの地域活性化の効果が大きいことから、今後の成長が期待される分野や雇用吸引力の高い分野など多様な分野の企業集積が重要です。

◇施策の方向

(1)企業誘致の推進

- ・多分野かつ多面的な企業情報の収集とフォローアップ
- ・立地誘引に向けた優遇措置の対象拡大の検討
- ・各分野の展示会への出展PRと情報収集
- ・既立地企業や関連企業へのフォローアップ
- ・賃貸工場の活用による誘致促進
- ・立地環境の整備

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
新規誘致企業数	誘致施策によって市外から誘致した企業数を示す指標です。毎年5社の新規誘致を目指します。	5社	5社	5社	5社
操業継続社数	誘致企業の事業継続状況を示す指標です。既存事業所全ての事業継続を目指します。	91社	96社	101社	106社

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
企業誘致推進事業 (企業立地推進室)	新規企業の立地及び円滑な企業活動を行ってもらうため、企業誘致活動、立地企業支援及び工業団地等の環境整備を行う。	153
工業団地整備事業 (企業立地推進室)	企業誘致用地の今後の不足感を解消し立地環境を整備するため、流通・工業団地の拡充を図る。	153

基本政策
1-6

雇用環境の充実

～希望する仕事に就き、安心して働いています～

政策の方針

市民が希望する仕事に就き、安心して働くためには、雇用環境の充実を図る必要があります。

そのために、企業が必要とする技術や能力を身につけるための人材育成に取り組むとともに、働きやすい就労環境づくりへの支援を行うなど勤労者福祉の向上を図ります。

(市民や企業に期待される役割)

◇市民の役割(地域、市民団体等を含む)

- ・勤労意欲を高める
- ・積極的な企業情報の収集
- ・自己分析・適性職業の把握

◇企業の役割(事業所、個人生産者等を含む)

- ・地元からの積極的雇用
- ・労働環境の向上
- ・福利厚生制度の充実
- ・人材育成のための研修会の実施

成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H28 目標値	H35 目標値
求職者の就職率	新規求職申込者が有効期限内(2ヶ月)に就職できた割合を示す指標です。現在の高い水準の維持を目指します。 出典：花巻公共職業安定所(雇用のうごき) 就職件数/新規求職申込件数	50.5%	50.0%	50.0%

施策1 職業人材の育成

◇目指す姿

企業が必要とする技術や能力を身につけています

◇現状と課題

- ・有効求人倍率*は、1.0 倍前後で推移しているものの、非正規雇用の増加や求職者の求める職種との乖離いわゆる雇用のミスマッチが生じています。
- ・若年者の早期離職や、技能職人材の減少による技能の継承が懸念されており、職場への定着と人材育成が求められています。

◇施策の方向

(1)就労支援

- ・職業相談やカウンセリング等による若年者等の就労支援
- ・就職ガイダンス開催による企業と求職者のマッチング支援
- ・新規学卒者等の地元就職および定着への取り組み支援
- ・高齢者の就労支援

(2)技能職の人材育成支援

- ・技能職の育成と就労支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
ジョブカフェはなまき*新規登録者の就職決定率	市の支援主体であるジョブカフェはなまき*を利用して、就業するための技術や能力を身に付けた登録者が、どの程度就職することができたかを示す指標です。現在の高い水準の維持を目指します。 <small>年度の就職者数 / 新規登録者数</small>	20.0%	20.0%	20.0%	20.0%
従業員を対象としたスキルアップセミナー等の受講者数	企業における従業員等の技術や能力の向上を示す指標です。実績の最高値に近づけることを目標に増加を目指します。 <small>出典：花巻市技術振興協会 スキルアップセミナー受講者数+人材育成事業補助対象受講者数</small>	396人	430人	460人	490人

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
就労支援事業 (商工労政課)	雇用の安定を図るため、ジョブカフェはなまき*における若年者の職業観醸成や高齢者等の求職者支援、職業訓練による技能職人材の育成を行う。	153

施策2 勤労者福祉の向上

◇目指す姿

安心して働ける環境が整っています

◇現状と課題

- ・従業員規模が 5 人以下の小規模な事業所は、市内の全事業所の 66%を占めており、単独で充実した福利厚生を整備することが困難な状況にあります。

◇施策の方向

(1) 勤労者福祉の向上

- ・中小企業のための退職金共済制度への加入促進
- ・勤労青少年のための各種講座の開催
- ・勤労者への資金貸付制度の実施
- ・子育てにやさしい職場づくりへの支援

◇成果指標

指標名	指標の説明	現状値 (H25)	H26	H27	H28
職場の福利厚生やワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)に満足している勤労者の割合	勤労者が職場における十分な福利・厚生を受けており、安心して働いているか示す指標です。増加を目指します。 出典：花巻市（市民アンケート）	41.7%	44.0%	47.0%	50.0%

◇主要事業

事業名（担当課）	事業概要	掲載P
勤労者福祉向上事業 (商工労政課)	勤労者の福祉向上のため、勤労青少年の余暇充実事業や退職金等の福利厚生充実への支援、勤労者への資金面の支援を行う。	153

